

## 2. 福岡市

### 「文化芸術による都市創造」

福岡市 総務企画局国際部 国際企画課長 山口裕明

皆さんこんにちは、福岡市です。私は文化芸術による都市創造というテーマで福岡市の文化政策についてお話をさせていただきます。

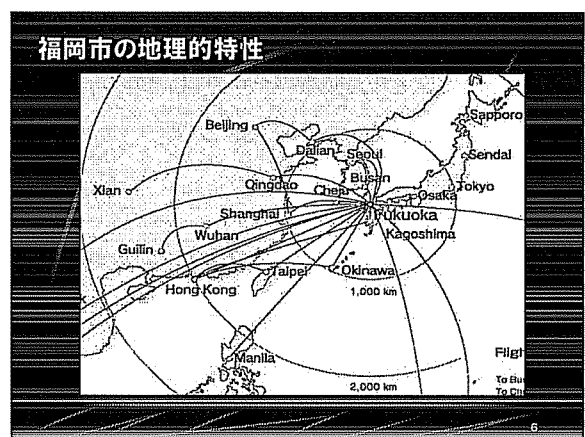
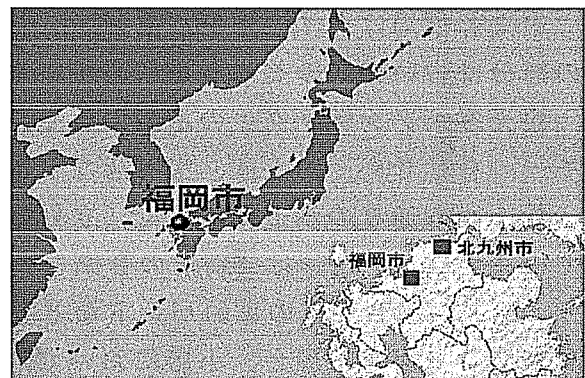
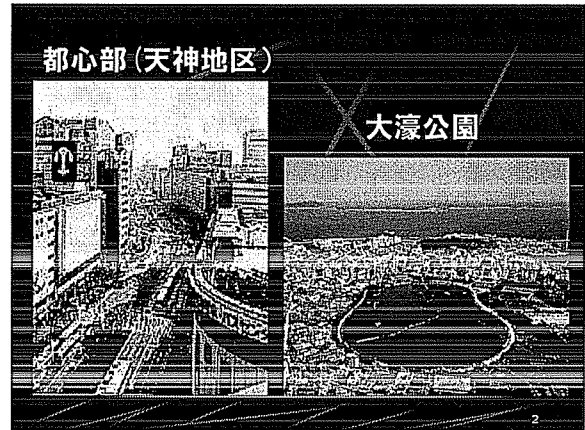
まず福岡市はどのような都市かご紹介します。福岡市は日本の西南に位置する九州，その九州の北部に位置する商業都市です。日本の大都市の中で最もアジアに近い都市です。また福岡市は戦後の経済成長の中で九州の政治，経済の中心として発展してきました。

画面左側，福岡市の都心部，天神周辺地区です。右側は大濠公園。都心部に近く市民の憩いの場所となっています。福岡市の人口は 140 万人，福岡と北九州の両都市圏を併せた北部九州圏は 400 万人の人口規模をなし，我が国第四の大都市圏です。

福岡市の概要についてご紹介しましたが，次に福岡市の都市づくりについてお話しします。福岡市は地理的特性やアジアとの交流の歴史をふまえ，1987年に制定した福岡市基本構想以来，活力あるアジアの拠点都市を目指した都市づくりを進めてまいりました。

地理的特性ですが，福岡市はアジア大陸に大変近いという特性があり，釜山へは飛行機で約 1 時間弱，高速艇で 3 時間弱の距離です。日本の首都東京は福岡市から約 1000 キロ，福岡を中心に見ますと 1000 キロ圏内に上海，大連，ソウル，2000 キロ圏内に北京，広州，台北，香港などの大都市があり，日本とアジア諸国との交流の拠点都市として最適な位置にあります。

また福岡市のアジアとの交流の歴史ですが，福岡市は 2000 年に及ぶ海外交流の歴史を持ち，古代から日本と大陸との交流の窓口でした。画面左上の金印は西暦 57 年，古代中国の皇帝から与えられたもので，福岡市で出土されています。右側は 8 世紀頃中国王朝をはじめとする海外使節の迎賓館として設置された鴻臚館の復元図です。



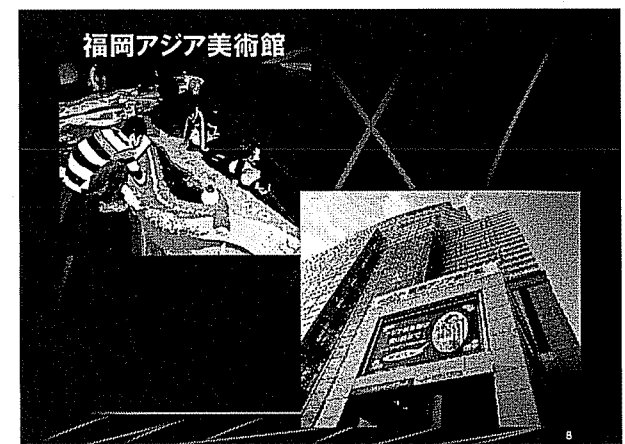
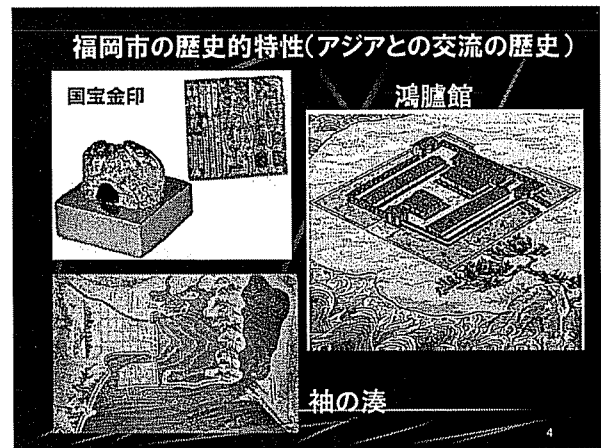
左下、12世紀博多港を拠点として日宋貿易が盛んだった頃、日本最初の人口港、袖の湊が築られました。また日本では初めての中華街である大唐街が建設されるなど海外交流の拠点として栄えました。

以上のような福岡市の特性をふまえ、都市づくりに取り組んでおります。

1989年のアジア太平洋博覧会開催を契機として市民交流をはじめ、ビジネス、学術、文化、観光などの分野でアジアを中心とした施策に取り組んでまいりました。

以下、文化芸術分野におけるアジア関連施策をいくつかご紹介します。左上はアジアマンスというものですが、毎年9月をアジアマンスとして、アジアの文化芸術、学術に関する様々な事業を開催し、市民レベルの交流を推進しています。1ヶ月で約90の事業を実施いたしております。右上の福岡アジア文化賞は今年で16回目、アジアの固有かつ多様な文化の保存と創造に顕著な功績をあげた個人または団体を顕彰することでアジアの文化振興と交流基盤づくりに貢献しています。これまで22カ国61人の方が受賞され、受賞者を通じて相互理解と交流に大きな成果をあげています。また世界に約4000人の推薦者のネットワークがあります。右下の写真はアジアフォーカス福岡映画祭で、これはアジアの優れた映画の紹介や映画界の新しい才能の発見と育成を図ることを目的にしています。2005年はアジア15カ国地域、25作品を上映いたします。

福岡アジア美術館は、世界で唯一、アジアの近現代美術の専門館として1999年に設置いたしております。豊富なコレクションやアジアの作家や研究者を招いての活発な美術交流を行っています。今年は3年に一度アジア現代美術の最新情報を紹介する大規模な国際美術展、福岡トリエンナーレが9月から11月まで開催され、



アジア 21 カ国地域の美術作家が参加する予定  
でございます。

次に福岡市の文化芸術による都市創造に向  
けた取り組みについて説明いたします。

文化芸術活動は暮らしや人生の豊かさを高  
めるのに重要な要素です。

市民が文化に触れ親しむだけでなく、地域づ  
くりや街の活性化に繋げていくことが求めら  
れています。国際化の進展の中で都市の個性や  
魅力の重要性が増しており、福岡の歴史と文化  
史跡などを大切にするとともに新たな文化を  
創造し発信していくことが重要課題となりま  
す。

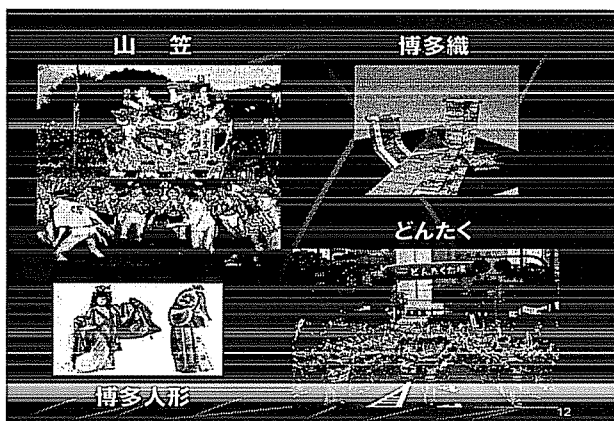
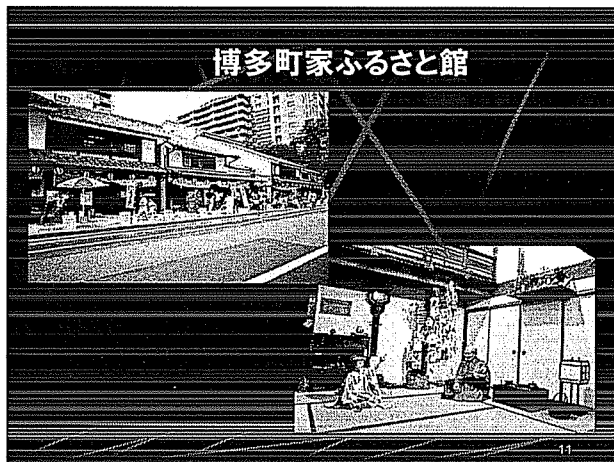
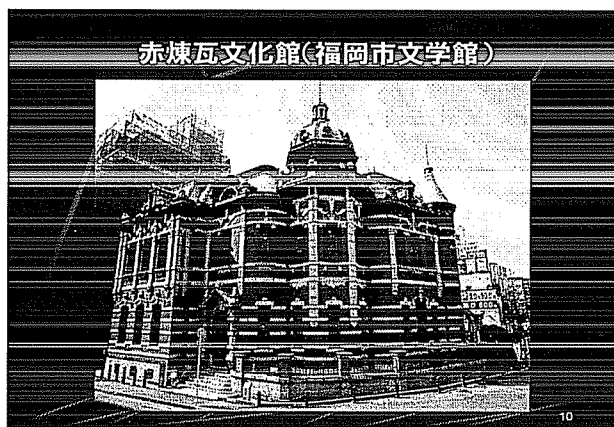
文化芸術を活かしたまち作り文化芸術の振  
興では、市民の文化芸術活動や創造活動を支  
援するとともに史跡、建造物など豊富な文化財  
の保存、整備などを行っております。

先ほど紹介した鴻臚館は 1987 年本市の都心  
で画面左側の遺跡が発見され、現在も発掘調  
査が進められています。発掘調査が一段落す  
れば右下のように復元を行い、大きな観光資  
源になると考えられています。

赤煉瓦文化館は 100 年近く前にイギリスの  
建築様式で建てられたものです。もとは民間  
の建物でありましたが、1969 年国の重要文  
化財の指定を受け福岡市歴史資料館として  
利用され、修復整備し市民の文化交流の場  
として 3 年前からは福岡に縁のある文学作  
品を紹介するなど、福岡市の文学館として  
活用いたしております。

博多町家ふるさと館は、取り壊し寸前の約  
80 年から 140 年前の博多の町家を市民の  
声をきかけに移築復元したものです。右下  
は当時の暮らしを展示したものです。年間  
約 8 万人の入館者があります。

右下は博多の代表的な祭りであるどんたく  
です。820 年前に始まり、多くの市民が参  
加し多彩なイベントが開かれています。左上  
は山笠です。760 年余の伝統をほこり、  
重量 1 トンも



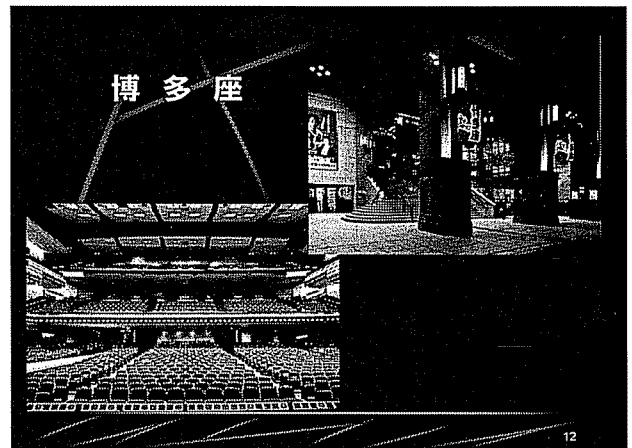
の御輿をかつぎ、街を駆け抜けます。

こういった内容を博多町家ふるさと館では常設で紹介しています。

祭りは貴重な観光資源であり、どんたくは日本で有数の人出といわれています。毎年約200万人が見たり参加したりしています。

また右上と左下は国指定の伝統工芸品である博多織、博多人形で、これらの製作実演を行っています。

博多座は日本で初めて経済界、興行界、行政が一体となって興行を行う方式を採用した劇場です。歌舞伎、ミュージカル、芝居などを1月単位で興行するほか、アジア各国をはじめ、海外諸国を視野に入れ、日本の伝統文化を紹介する講演なども行っており、年間50万人前後の入場者がごぞいます。



福岡フィルムコミッションでは、国内外の映画、テレビドラマ、コマーシャルなどの撮影に対する協力や誘致活動を行い、映像を通じて福岡、九州の魅力を国内外に発信しています。

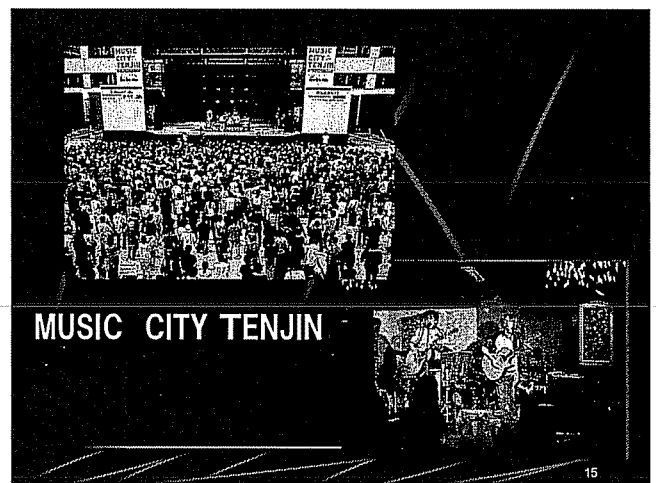
2004年4月から1年間で53作品の撮影実績ができました。

画面は昨年夏、福岡市の都心部で行われた映画の撮影風景です。



音楽関連産業とデジタルコンテンツ関連産業の振興については、福岡は昔からアーティストを育てる土壌があり大学をはじめとした教育機関も集積しています。このようなポテンシャルを踏まえつつ、福岡の音楽資源を国内外に発信する福岡音楽統括サイトの設置や、シンボリックな音楽イベント、ミュージックシティ天神の開催など、音楽デジタルコンテンツ関連産業の集積を目指した取り組みを展開しています。

画面のミュージックシティ天神は3年前から福岡市の都心部天神を中心として開催されているイベントです。天神の広場公園など特設ステージをプロもアマチュアも出演する演奏が楽しめるなど、様々なイベントを実施し、昨年は3日間で約8万人を集めました。



以上のように、2000年にわたる歴史の中

で育まれてきた伝統文化、祭り、美しい自然など福岡の豊かな文化資源を発掘、振興すると共にアジア文化賞やアジアフォーカス、福岡映画祭などを通じて培ってきたアジアとの文化の交流、さらに、福岡市の特性を生かした音楽、映像などの芸術文化の振興、新しい産業の振興、地域経済の活性化につなげ、文化芸術による活力ある都市づくりを進めていきたいと考えています。

ご静聴ありがとうございました。

### 3. 広州市

「多文化システムを構築し、都市文化の発展を促進する」

広州市 文化局副局長 張嘉極

南シナ海に近く、香港・マカオにも隣接する広州市は、中国華南地方に位置する広東省の政治、経済、文化の中心です。陸地面積は7,434平方キロメートル。人口は1千万人を超えます。

また、広州は都市建設2,000年余りを誇っており、非常に豊富な歴史的な文化資源を有しております。改革開放路線や社会主義建設を推し進める過程においても、昔と今、東洋と西洋を融合させながら、地域独自の特色と現代的な風貌を持った都市文化を形成してきました。そのため、いかにして広州文化の独自性を維持し、その特有の魅力を高めていくのか、それは我々の都市文化を盛り上げていく上で重要な課題であるといえます。長年にわたり、広州市は、都市文化と近代的都市建設を深く結びつけるということを念頭に、市民を中心とした都市文化の形成という考え方を確立させてきました。また、果敢に新しいことにチャレンジし、常に積極的に取り組み続けることで、文化ブランドを打ち立て、文化関連事業を盛り上げてきました。さまざまな文化活動を提供し市民の文化的生活の需要を満たすこと、都市文化に好適な環境を作り上げること、それらに対する努力により、文化は都市生活の各方面に深く浸透しつつあり、広州の都市文化建設はもはや新しい発展段階に入ってきているのだといえます。

#### 1 心のこもった文化ブランドの確立により、都市文化の質の向上をはかる

文化の内容や質を絶えず高めていくには、それを構築する段階で大きな努力が必要です。近年広州市は、全国各地で行われる影響力を持った、重要な文化活動プロジェクトを利用しながら、広州のブランドを確立し、都市文化の受発信能力を高めています。

また広州市自身も、長年にわたり全国レベルもしくは国際的な大型文化事業を開催しています。中国音楽の最高の賞とよばれている「金鐘賞」は、市政府も重要視し、支援を行っており、これを末永く定着させていくことが広州にもたらす影響は計り知れません。また金獅賞第2回全国人形劇のコンテスト、金獅賞第6回全国雑伎団大会の開催も成功を収め、広州国際芸術博覧会、羊城新人歌手大賞、羊城国際広東オペラフェスティバル等など